

個人投資家向け会社説明会 主な質疑応答 (2018年2月、3月開催)

Q1: 生産拠点はどこにあるのか。

A1: 群馬県富岡市にある工場で90%を生産し、中国上海市にある工場で残りの10%程度の新興国向け製品を生産しています。他にも、マレーシアで新興国向けの生体情報モニタを生産しており、インドにも血球計数器の試薬工場があります。現在、富岡工場では消耗品の生産自動化を進めており、また、今後のグローバル展開のために現地生産化も検討しています。

Q2: 国内販社を本社に吸収合併した目的と効果を教えてほしい。

A2: 2017年4月に、国内販売子会社11社を本社に吸収合併しました。日本では、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、医療が大きく変革しています。その中で、当社も開発、生産、営業、サービスの体制を変える必要があると考えました。グループ経営・管理の効率化も目的の一つです。以前に比べて施策がより浸透するようになり、また、各地の情報が集まりやすくなるなど、徐々に効果が現れています。

Q3: 現在、一番開発したいものは何か。産学共同研究は行っているのか。

A3: 当社が注力する分野は、主力製品である生体情報モニタです。また、治療機器の新たな事業として人工呼吸器と麻酔器の開発も進めています。

医療機器は最先端の産業であり、自社だけで取り組むことは困難です。そのため、産学連携にも取り組んでおり、例えば、東京女子医科大学様は国の予算でスマート治療室の研究をされており、当社も生体情報モニタの開発で参加しています。他にも、大阪大学様などと様々な研究を行っています。

Q4: ROEがだんだん下がっているが、理由は何か。

A4: 営業利益率が少々低下していることがROE低下の要因となっています。利益成長を最優先に、業務改善や収益改善に努め、ROEを伸ばしていきたいと考えています。

Q5: 配当金が35円で安定しているが、今後利益が上がれば配当金を増やすのか。

A5: 当社の配当方針は、長期にわたり安定的な配当を継続することであり、業績が悪くても減配はしたくないと考えています。今後は、業績に応じて配当も少しずつ増やしていければと考えています。

Q6: 日本光電の競合メーカを教えてください。医療機器は分野が広いが、日本光電はより大型の機械を目指しているのか、それとも測定器で将来もやっていくのか。

A6: 除細動器と AED は、当社が唯一の国内メーカであり、競合はフィリップスです。脳波計は、当社がトップブランドとして認知されており、世界的には米国のネイタスメディカルが競合となります。心電計は、フクダ電子が競合です。主力製品である生体情報モニタは、国内ではフィリップス、GE、フクダ電子、世界的にはフィリップスと GE が競合となります。

また、当社が扱っている製品は、レントゲン、MRI、CT などラージ ME (Medical Electronics) と呼ばれるものに対して、心電計など小型の Small ME と言われるものです。当社の強みは生体信号を検出するセンサ技術にあります。また、今後の医療では、診断だけでなく患者さんを治さなければならないということで、治療機器を充実させる必要があります。現在、人工呼吸器、麻酔器の開発に取り組んでいるところです。

Q7: 町内会で毎年救命の訓練を受けるが、AED の設置場所がまだまだ少ないと感じる。もっと設置場所を増やせば助かる人も増えるのではないか。

A7: AED は、2004 年 7 月に一般市民による使用が解禁されてから急速に普及が進み、現在では全国に約 80 万台が設置されています。

心室細動を起こして意識を失うと、1 分経過するごとに約 10%、生存率が下がってしまうので、1 km ごとに AED を設置しても十分ではありません。当社としては、引き続き AED の普及に取り組んでいきたいと考えています。

同時に、AED を使用できる人を増やすため、全国での講習会の実施にも力を入れています。

Q8: AED の電池のチェックはどのように行っているのか。定期的に行っているのか。

A8: AED は、毎日バッテリー残量や電極パッドの使用期限が切れていないかをセルフテストしており、その結果を、AED 本体のステータスインジケータで表示しています。緑色は使用可能、赤色は要確認を表しています。このセルフテストの結果は、当社の場合、AED リモート監視システム (AED Linkage) により Web 上で確認できたり、AED にトラブルがあった際には登録メールアドレスにお知らせするなど、お客様ご自身による日常点検をサポートします。

以 上

<ご留意事項>

※本資料は、投資家の皆様へのご参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたものではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。